

たかとり

社協だより



編集・発行

社会福祉法人 高取町社会福祉協議会

〒635-0154 奈良県高市郡高取町大字観覚寺990番地の1

電話 0744-52-3865 (直通)

FAX 0744-52-3919

平成 25 年 4 月 発行



「松山の珍し〜いお地蔵様」

「薩摩のありがた〜いお地蔵様」



目次

◇松山大字の紹介	1 ページ
◇薩摩大字の紹介	2 ページ
◇赤い羽根共同募金のお礼・「住みよい地域づくり支援事業」	3 ページ
◇防犯ボランティア連絡協議会・草刈りボランティア	4 ページ
◇高取町ボランティア団体連絡会発足	5 ページ
◇暮らしに関するアンケート調査を行いました！	6 ページ
◇地域福祉権利擁護事業	7 ページ
◇自立支援協議会事業	7 ページ
◇おせち料理配食サービス	7 ページ

この社協だよりは、共同募金の配分金で作られています。

第4回私の大字自慢

前回からシリーズでお届けしています“私の大字自慢”。高取町内23区の区長さんに大字の自慢話をしていただくコーナーです。あんなこと、こんなこと、あらためて発見できるかも!?

松山編

平成25年2月に取材させていただきました。



区長さんの紹介

- ◎お名前 天前 良一さん
- ◎趣味 山登り・魚釣り
- ◎子どもの頃の思い出
夜釣り。川や池で、ビンづけ・箱づけ・ながづけなど仕掛けを作ってウナギやコイ、フナなどを獲ったりして遊んでいたこと。

○松山ってどんなところ?

松山は、高取町のほぼ中心部に位置していて、さらに松山川に沿って1kmほど上流に羽内村をはさんで奥羽内がある。ここは松山の分村した子村と考えられているが、一説には松山がここから下へ出村したとも言われている。松山には、約20基の小古墳がある。いずれも未調査であったり、盗掘されていて十分なことは知られていないが、呑谷古墳からは、金銅環・海獣葡萄鏡・鉄鏡などが出土し、現在は、東京国立博物館で所蔵されている。(一部、町史より抜粋)



海獣葡萄鏡

○松山在住の方が語る『松山の思い出』

昔は何かあるとよく“もち”を作った。朝、ペタンコ、ペタンコの杵の音で目が覚めた。子供の頃の遊びと言えば、松山川、細川で雑魚釣り。昔はもう少し川の水も多く深かったが、大きな魚はいなかった。中谷池や竹谷池でもよく泳いで遊んだ。また、池の水を全部出して魚を獲ったりした。おやつは小麦粉を口いっぱいに入れ噛んでガムを作った。青年団には中学1年から全員入団、山林監視当番をしたり、秋祭りには朝から神社へ続く道筋に木と紙で作った御神灯を立てて回ったり、夜遅くにはごくまきをした。松山の良いところは景観も良く、山・川・田・畑の自然の恵みがバランス良くある。適当な軒数、人数的にもまとまり易く、協調性もあり団結力もある。人情味豊かで温かく、思いやりのある人間関係が松山にはあると実感している。

○コトコト地蔵

松山の入り口に石の地蔵尊が立っている。村人は、嫁入りにはまずこの地蔵尊を“ワラ縄”で縛りつける。これには、次のような伝説がある。(諸説あります)

むかし、油屋という家におつるという娘がいた。この娘が雇い男に思いこがれた。だが、両親は許してくれなかった。夜ごと夜ごとに思いはつのるばかり。とうとう病にかかりこの世をさった。雇い男もこのショックでなくなった。その後、村から嫁入りする人は、このふたりにとりつかれて、幸せになれなかった。それで、村人たちは、この地に地蔵尊を建ててふたりの霊を慰め、法要を営んだ。しかし、村から嫁入りするときこの前を通ると、この地蔵尊がコトコト音を立てるので、嫁入りのときには、この地蔵尊を縄で縛りつけるようになった。



コトコト地蔵

ほかにも

《呑谷地蔵》



上記の鏡などが出土した呑谷古墳の麓にひっそりと佇んでいらっしゃる呑谷地蔵様。昔は、このお地蔵様の地蔵盆も露店などが出て盛大にお祭りが行われていたそう。

《歯痛地蔵》



旧町道の傍らに3体の歯痛地蔵様が肩を寄せ合っておられます。ここは普通学路でもあり、児童や拝みに来る人たちの歯痛を和らげ、今もなお地元の人に親しまれている。

○今後の松山

他の地域と同じく、松山も子供が少なくなり、子供会も無くなってしまいました。後継者不足で、休耕田や廃田も増えてきました。さらにTPPの問題で農業がどうなっていくのか危惧されます。しかし、そんな将来が不安視される今だからこそ、さらに住民が一丸となって助け合い、支え合い、松山を元気にしていければと思います。4月下旬から公民館の建て替え工事が行われる予定です。住民の皆さんに様々な催しに使ってもらい、あたたかい交流の場、憩いの場として活用していただけるのを、今から楽しみにしています。

第5回私の大字自慢

薩摩編

平成 25 年 2 月に取材させていただきました。



区長さんの紹介

- ◎お名前 喜多 功さん
- ◎趣味 スポーツ、草花栽培・観賞
- ◎人生の大きな出来事 薩摩区長に就任したこと
- ◎夢 日々多忙から開放され時流に身を置き、青垣山を眺め、農に生きる。

○薩摩ってどんなところ？(人口など)

町内土佐・吉備とならんで国名にちなむ特異な村名をもち、高野街道から御所街道の分岐点で高取町の中央部に位置し、4垣内49世帯で越智丘陵の南東斜面で古墳が多数あり、陽当り良く静かな集落です。

○薩摩には何がある？(歴史的建造物など)

薩摩遺跡：弥生時代～中世におよぶ墳墓、集落、鍛冶遺構、水利施設など度重なる発掘調査で確認され特に水利施設として、古代に谷の一部を堰き止めて溜池が作られ波多里長檜前村主がこの池を作ったと記された木簡が出土しています。また、大壁建物跡は渡来系氏族の建物と考えられています。この薩摩の地を通る飛鳥から紀ノ川へ抜けるルート(キジ)を「紀路」と言って、古代の主要な交通路であったと考えられています。この紀路を経由して、中国大陸や朝鮮半島から渡来した人・物・情報の東の出口にあたり、豊富な内容をもつ古墳群等が作られた所が薩摩遺跡と考えられています。

○腰折れ地蔵尊(西法寺横)

古来より「さつま腰折れ地蔵」は、安産祈願・足腰の痛みの快復にご利益があると近在はもとより、広く道行く人々からのお参りが絶えません。腰折れ地蔵は石造で、上半身・下半身の二体に分かれたとおり、特に、腰の部分は安産祈願とされています。また、自分の患部と同じ箇所を手で触ると痛みが和らぎ快復するといわれ、いつしか信仰が深まり現在も多くの人々がお参りに来られます。この地蔵尊は、古来伝承によれば薩摩遺跡の周辺で紀路・高野街道に面して鎮座していたといわれています。中世以来、路を行き交う人々が花や線香を手向け、手を合わせ旅の安全と健康を地蔵尊のお願いしていた姿を想像すると、タイムスリップした気持ちになります。現在、西法寺横に祀られています。移された年代は定かではありませんが、明治の初め頃だといわれています。地蔵尊横の灯籠も珍しいので、是非、ゆっくりご覧ください。

○薩摩を自慢&PRしてください。(現在の催し物など)

①7月22日「さつま地蔵祭り」は、毎年伝統ある夏祭りとして行われ夜店も出て賑わいます。昨年、この地蔵尊を末永く古来の伝承を続けて行くため『さつま地蔵尊を護る会』を大字の皆さんに呼び掛け、老若男女多数の協賛を得て結成いたしました。今後この行動が楽しみです。

②大字の事業・行事には全員参加で取り組み隣人融和を図り、村づくりに積極的に協力しあっています。



大壁建物



木簡



土器溜り



自分の患部と同じ所を触ると痛みが和らぐといわれている。

さつま腰折れ地蔵





赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました!



「駅前募金活動の様子」



「たかむち小学校からの募金」



「高取中学校からの募金」

募金総額

一 般 募 金 1,557,790 円
歳末たすけあい募金 827,604 円

皆様から寄せられた募金は、高取町内の高齢者福祉活動、児童青少年福祉活動、障害者（児）福祉活動、住民全般を対象とする福祉活動など地域に役立てられています。

「はねっと」(www.nara-akaihane.com)では、募金していただいたお金が、具体的に高取町でどのように使われているかがご覧いただけます。



赤い羽根共同募金による

『住みよい地域づくり支援事業』

助成金交付事業決定!

昨年、「住みよい地域づくり支援事業」助成申請の募集に2団体の応募がありました。

①	団 体 名	わくわくエンジェル
	事 業 名	育児サークル わくわくエンジェル
②	団 体 名	上子島老人会
	事 業 名	ジャンボ干支雛づくり

12月の共同募金委員会運営委員会で審査されました結果、“高取町の住民自らが参加する地域福祉コミュニティの実現につながる活動である”と認められ、助成金が交付されることになりました。来年度も同様、公募する予定ですので、関心のある方はお問い合わせください。 問い合わせ先：高取町共同募金委員会 事務局 ☎ 0744-52-3865



防犯ボランティア連絡協議会

平成 24 年 8 月 24 日（金）高取町リベルテホールにて、高取町防犯ボランティア連絡協議会の総会・研修会を開催致しました。桶谷憲昭会長より「日頃のボランティア活動にご尽力下さりありがとうございます。町内の安心安全な町づくりは皆様のご協力なくしては成り立ちませんので、引き続きお力添え頂きますよう、よろしく申し上げます。」と感謝と激励の言葉を述べられました。



本年度の研修会は、5月に奈良県知事による『振り込め詐欺多発警報』が発令されたことにも伴い、奈良県橿原警察署 生活安全課 防犯アドバイザーである横内利和氏をお迎えし、“地域の防犯・抑止”についてご講演いただきました。

最近の詐欺の手口は主に『おれおれ詐欺』・『還付金請求詐欺』・『融資保証金詐欺』・『架空請求詐欺』の4つのパターンに分けられ、電話や電子メールなどを使用し、言葉巧みにお金を振り込ませるといふものです。横内氏は、『被害にあわれているほとんどの人は、振り込め詐欺は知っていたが、まさか自分が被害にあうとは思っていなかったと皆口を揃えたように言われます。被害にあわないためには、慌てないでまず確認が必要です!』と、参加者の皆さんに注意を呼び掛けていらっしゃいました。



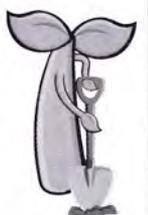
勢百五十名の会員さんがお集まり下さいました。皆さん、帽子に軍手、首にはタオルといった完全装備で、伸びた草を鎌や鋏で刈り取ったり、手で根こそぎ引っこ抜いたり、と素早い手つきで除草されていました。そして、見る見るうちに雑草の山があちらこちらにできていき、広々ときれいになったグラウンドをご覧になられた町長は、「まさに、マンパワー!」と力強く、うれしそうにおっしゃっておられました。



平成二十四年十月十六日（火）、高取町老人クラブ連合会の会員さんによる、高取健民グラウンドの草刈りが行われました。この行事は、秋の町民体育祭に向け、みんなが気持ち良くプレーできるようにと毎年この時期に行われています。

今年は、さわやかな秋晴れの下、総

草刈りボランティア



高取町ボランティア団体連絡協議会発足

『高取町ボランティア団体連絡会』とは、高取町内の各ボランティア団体相互の活動及び交流等の推進を図るための情報交換や連携を通じて、町民の社会活動への参加を促進するとともに地域振興や福祉等に寄与することを目的とし、平成24年7月12日に発足しました。将来的にはボランティアセンターを立ち上げることが出来ればと考えています。

ボランティアをされている団体で是非参加してみたいと思われる方は、高取町ボランティア団体連絡会事務局（高取町社会福祉協議会内 TEL0744-52-3865）までご連絡ください。



天の川実行委員会
会長 野村幸治

会長あいさつ

現在世界の先進国は、①経済成長、②地球環境の保全、③資源の確保といった3つの共通課題を抱え、さらに日本は、①人口減、②高齢化、③財政難という世界で最初の未知の難題に直面しており、もはや国や市町村といった行政だけでは解決のできない状況にあります。

高取町におきましても、高齢化が進み60歳以上の人口が半数になるのも時間の問題です。それには住民一人一人がボランティア活動により「一定の活力を維持し、安心して老いていける地域社会」を実現することが望まれます。町内の各ボランティア団体が情報交換や連携を行ない、各々の団体の活動を通じて大きな共通の課題の解決に取り組んでまいりたいと考えます。



『育児サークル「わくわくエンジェル」の皆さん』

当会は、平成11年4月に子育て中のお母さんを中心に立ちあげ、現在も就業前の子供とその保護者を対象

に四季折々のイベント等を通して子育て世代の交流を図っています。子育ての楽しみや悩みを気軽に話したり相談できる仲間を見つける機会を作ったり、ボランティアや地域の方々の力を借りながら、一人でもたくさんの子供と親が触れ合い楽しみながら、色々なことを学び成長していける場になるように活動しています。今後も月1回のペースで保健センターをお借りして、楽しい企画を実施していきます。

連絡・問い合わせ先：

高取町役場 住民福祉課 ☎ 0744-52-3334

たかとり観光 ボランティアガイドの会



当会は、平成15年8月に、会員のボランティア精神と自主運営に基づき、高取町の歴史文化

を顕彰し、おもてなしの心で文化財や史跡などのガイドを通じて、町の観光振興に寄与することを目的に設立いたしました。会員は25名で40歳から80歳まで、男性14名女性11名で殆どはリタイヤした人達です。ご案内するコースは、土佐街道「土佐街並み」、日本一の山城「高取城跡」、日本を代表する俳人「阿波野青畝の句碑巡り」、古代の高取町、中世の高取町、藤原京の南山「壺阪寺」の基本6コースを設定しており、ガイドの際、土地の言葉で、土地の者しか知らないような内容をご説明するように心掛けています。

連絡・問い合わせ先：

観光案内所 夢創館 ☎ 0744-52-1150



高取町で

『地域のくらしに関する調査』を行いました！

～小地域福祉活動事業～

現在、高取町の高齢化率は30%を超え、買い物や通院などの移動、見守り等の様々なくらしに関する課題が不安視されています。

このような、くらしの課題に対して、高取町社会福祉協議会では「住民同士のつながり」の大切さにあらためて注目し、互いに支え合い、助け合う仕組みづくりが必要だと考えています。そこでまず、地域の関係者の皆さんと連携し、住民の皆様の“生の声”をお聞かせいただき、地域の実態・ニーズを把握したいと考え、アンケート調査を実施することにいたしました。



調査の拠点は各大字の公民館や個人事務所をお借りしました。

アンケート調査は、平成24年9月8日～11日の4日間、町内8大字、約300世帯を対象に1軒ずつ訪問させていただき、聴き取り調査を行いました。大谷大学 准教授 志藤修史先生のご指導のもと、大谷大学の学生の皆さん、奈良県内の社会福祉協議会の職員の皆さんがご協力下さり、くらしの実態や地域福祉に関する20の質問項目にお答えいただきました。



高取町全域から特徴的と思われる地域を選択して訪問しました。

こちらからのアンケートのお願いにも関わらず、「暑い中をようこそきていただいて」と歓迎してくださったり、「がんばってね!」と励ましてくださったり。暑さも疲れも飛んでいってしまうくらい元気をいただきました。あらためて高取町の皆さんの温かさを感じました。by 調査員

アンケート調査にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

皆様の貴重なご意見を集計し、まとめ、冊子にしてご報告させていただきたいと考えています。

また、今後アンケート結果を基に、“誰もが安心してくらせるまち”であるために、住民同士がつながりあえる仕組み作りを進めていきたいと思っておりますので、高取町の住民の皆様、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします!!



ひとりで悩まずにご相談ください！

地域福祉権利擁護事業《日常生活支援事業》



どのような人が使えるの？

判断能力が不十分な状態の方（認知症の方、知的障害のある方、精神障害のある方など）が対象となります。



どのようなことをしてくれるの？

公共料金の支払のお手伝いや口座引き落としの手続きをしたり、利用できる福祉サービスを紹介します。また、銀行などの貸金庫を利用して、預金通帳や印鑑などを保管します。



また、契約を結ぶことや利用料がかかることをご理解していただき、この事業の利用が日常生活の役に立つと認められる方が対象となります。

詳しくは、高取町社会福祉協議会までお問い合わせください。（ご相談無料）

電話：0744-52-3865 FAX：0744-52-3819



高取町・橿原市・明日香村 地域自立支援協議会

平成25年3月1日、『障害者虐待防止法』に関する研修会を開催しました。昨年の10月1日に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、本協議会では実際の現場で支援者がどのように考え、動けばよいのかを学ぶ機会として、奈良総合法律事務所の荒木秀夫弁護士とNPO法人PASネット理事長上田晴男氏にご講演いただきました。荒木弁護士からは、この法律の成立背景や主旨を分かり易く解説していただき、上田氏からは虐待を未然に防ぐための早期発見・早期対応がいかに重要であるかをお話いただき、最後に「虐待の判断してから通報するのではなく、そうかな、困っているかなという状況ですぐにもよりの各市町村へご相談ください」と、語気を強めておっしゃってられました。



荒木弁護士



上田理事長



県社会福祉総合センターにて



おせち料理配食サービス



各地区担当の民生委員さんが見守り活動をされているひとり暮らしの方や高齢者夫婦（75歳以上）の方々に、あたたかいお正月を迎えて下さるよう、平成24年12月31日の大晦日に、民生委員さんを通じ、お節料理をお届けしました。



民生委員さん
にお届けしました

平成24年度おせち料理

